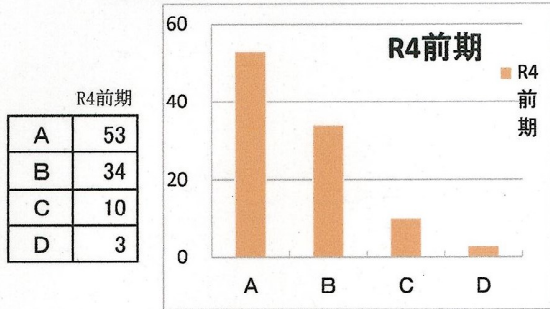


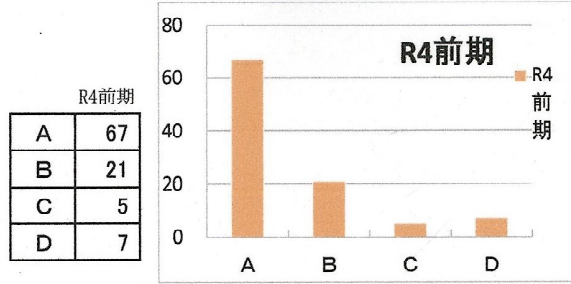
令和4年度前期 土岐小学校 児童アンケート結果

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない 《数字は%》

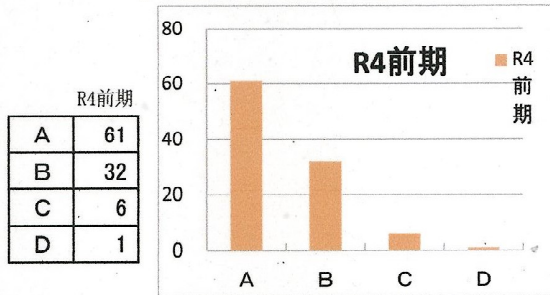
①自分にはよいところがあると思いますか。



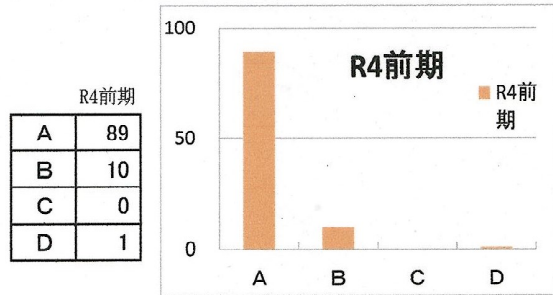
②将来の夢や目標を持っていますか。



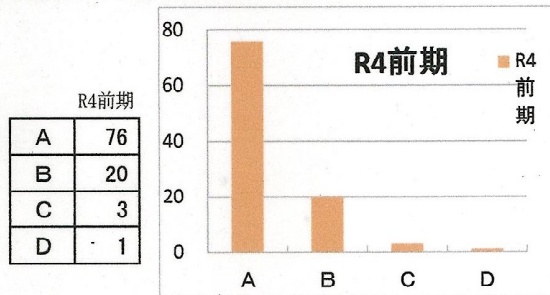
③学校のきまりを守っていますか。



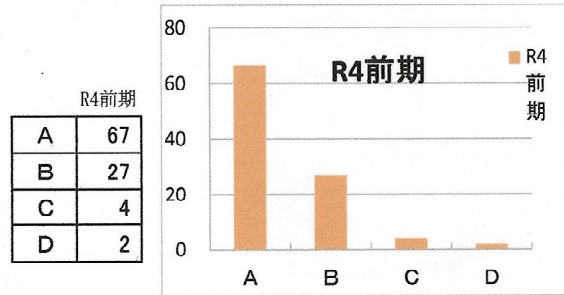
④いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。



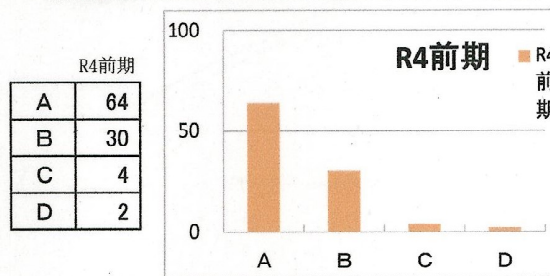
⑤学級のみんで協力して何かを成し遂げ、うれしかったことがありますか。



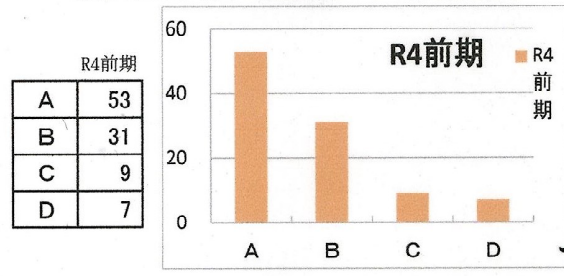
⑥仲間の良さを見つけることができますか。



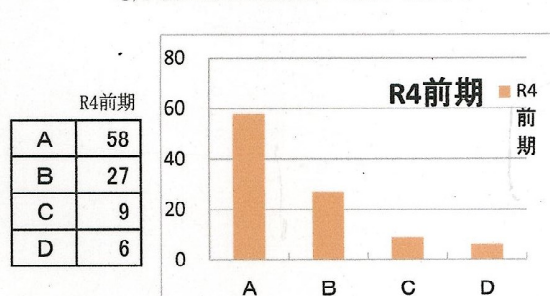
⑦先生はあなたの良いところを認めてくれていますか。



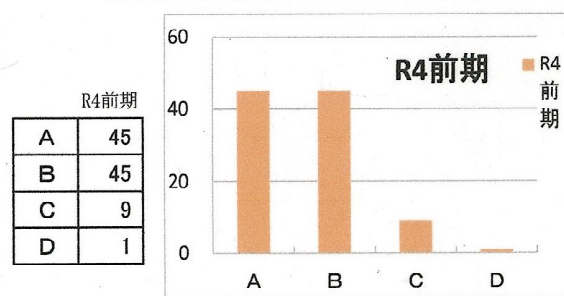
⑧家の人と学校での出来事について話しますか。



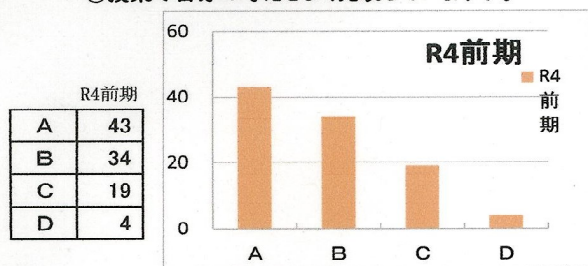
⑨学校に行くのは楽しいと思いますか。



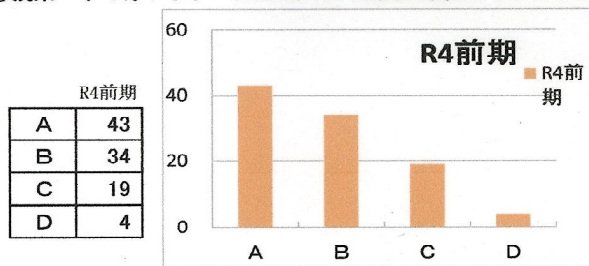
⑩学校の授業がどのくらい分かりますか。



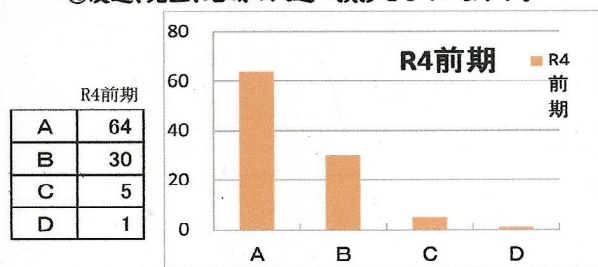
①授業で自分の考えをよく発表していますか。



②授業の中で分からないことがあったら先生に聞きやすいですか。



③友達、先生、地域の人達へ挨拶をしていますか。



<保護者アンケートから>

- コロナ禍における学校の活動や行事については、概ねご理解がいただけていました。今後も、「学びを止めない」を合い言葉に、感染拡大防止に努めながら活動をできる限り進めていきます。
- 「働き方改革」の取組については、多くの皆様に肯定的にとらえていただけています。「子どもと向き合う時間を確保するための改革」という軸をぶらさず、さらなる業務の適正化を行っていきます。
- 多くのご家庭で、お子様と触れあったり、良さを認めていただけたりと「望ましい親子の関わり」がなされています。こうした家庭教育が基盤となって今の素敵な子どもたちの姿があると感じています。
- 「あいさつ」に関する項目の肯定的な割合が低かったです。これは本校職員も大きな課題だと感じています。その一方で、児童アンケートでは多くが「できている」と答えています。この差の要因をとらえ、あいさつの質を高める取組を学校では進めていきます。また、ご家庭とも連携して取り組んでいきます。
- 「いじめや暴力を許さない指導」「一人一人を大切にしたい指導」については、他の項目に比べ肯定的な割合が低く、昨年度と比べても下がっていました。これを真摯に受け止め、夏休みに「いじめ」に関する研修を行い、迅速で組織的な対応の在り方について共通理解を図りました。
- 「テレビやスマホ、ゲームのルール」について否定的な回答の割合が高かったです。一人一台タブレットを今後、家庭に持ち帰ることも踏まえて、2学期以降、児童向けの情報モラルの授業を行います。また、今後、PTAと連携して保護者向けの情報モラル講話等を実施していきます。

<児童アンケートから>

- 規範意識や仲間との関わりに関する項目は、肯定的な割合が高かったです。素直で仲間への思いやりのある子が育っているといえます。さらに、こうした良さをさらに伸ばしていきます。
- 「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標をもっている」といった自己肯定感に関する質問項目は、前回のアンケートよりも肯定感な回答が増えています。学校の重点課題として、地域や保護者へも発信し取り組んだ成果が数値にあらわれてきたともいえます。
- 「学校に行くのが楽しい」と回答している児童の割合が前回のアンケートを下回りました。コロナ禍で様々な制限がありますが、その中でも楽しさや充実感を味わせていく学校教育をめざしていきます。
- 「自分の考えを発言する」「分からないことを自ら聞く」といった主体的な態度を問う項目は、肯定感な回答が低かったです。主体性を高めることを2学期以降の学校の重点の一つとして取り組みます。